

政策提言書を市長へ提出

令和6年10月21日に3常任委員長が、各常任委員会でとりまとめた政策提言書を中野市長へ提出しました。

令和5年2月よりそれぞれの常任委員会で所管する事項から、課題と考えるテーマについて先進地の行政視察や調査研究、委員協議会での議員間の討議を重ね、提言内容の検討をしてきました。

それぞれの常任委員会から提出した提言書の概要を報告します。



各常任委員会の政策提言書は議会ホームページでもご覧いただくことができます。



〈総務文教常任委員会〉

地域と学校に新たな絆づくり

子ども達の確かな学び・育ちを保障するため、学校・家庭・地域が一体となって取り組む

不登校対策

1. 「心の小さなSOS」を見逃さない仕組みづくり
2. 豊富な経験と専門的なスキルを持つ第三者的なプロカウンセラーとの体制づくり
3. 民間のフリースクールとの更なる連携
4. フリースクールの利用負担に対する助成制度の導入
5. 放課後児童クラブとは別に児童・生徒が自由に過ごすことのできる居場所を確保
6. 多様な学びの場・居場所として、地域交流センター、図書館の社会施設を利用
7. メタバースにおける居場所を提供する取り組みについても調査研究する必要
8. 学びの多様化学校（いわゆる不登校特例校）の設置
9. こども権利条約の4原則を重視した子どもの権利を明記する条例の制定

コミュニティ・スクール（CS）

1. 文科省から委嘱されたCSマイスターを複数年度にわたり配置
2. (仮称)「焼津市コミュニティ・スクール合同連絡協議会」を立ち上げ、それぞれの地域ごとの具体的政策について企画・立案・実践につなげる



〈市民福祉常任委員会〉

焼津市のひきこもり支援

誰もが活躍できる地域共生社会実現のために

相談支援

1. ひきこもり相談支援の充実
2. 重層的支援体制整備事業の充実

参加支援

1. 協議会の設置
2. 行政主導の重層的居場所
3. オンライン居場所
4. 就労体験が可能な常設居場所
5. 地域福祉コーディネーターの育成

地域づくり

1. 既存の居場所を多世代・属性が交流できる居場所に拡張
2. 居場所の運営の安定のため、低額の料金を設定。修繕や必要物品の購入などに充てる
3. 居場所を社会全体の関心事とするため、運営の安定のために居場所の支援制度を設ける
4. 世代・属性間の交流を促進するきっかけにするために全ての居場所を可視化する「焼津市まるごと居場所マップ」を作成
5. 居場所としての農福連携や水福連携が実現後、そこで作られた農産品や水産品、加工品を販売する場所（市役所の海街ホールなどの公共施設）や機会を市が提供。



〈建設経済常任委員会〉

やいづのポテンシャルを 最大限に生かす、攻めの観光政策

1. 観光振興を発展させるために、観光地域づくり法人（DMO）を新たに組織する
DMOを作ること、市全体の観光振興の旗振り役として責任を持って進めることが可能
2. 新港エリアの広大な空間を活用し、焼津の魅力を満喫できる新たな複合拠点を開発
常任委員会で実施した市民アンケートにて、新港エリアにおける既存施設の有効活用や大型開発等を望む声あり
3. 五感すべてで「やいづ」を堪能できる「さかなのまち焼津」の新たなシンボルを創出
4. 場のチカラを生かしたシビックプライドの源泉、「市民広場」を整備
5. ふるさと納税と観光振興のコラボレーションを進める
6. 誰も拒まない観光都市～ユニバーサルツーリズム～推進
7. 持続可能な発展と地域経済の成長に向けた市民参加型のDX（デジタルトランスフォーメーション）・PR・インバウンド対応
ポータルサイトの内容充実化や、インフルエンサーの活用、VRなどのバーチャル技術活用等



常任委員会行政視察報告

◎総務文教常任委員会（令和6年10月16日～17日）

コミュニティ・スクールの先進事例を調査・研究

◇愛知県瀬戸市

地域と共にある学校づくりを掲げコミュニティ・スクールの制度を平成30年度より導入。各学校に「地域協働室」を設置し、地域コーディネーターの活動拠点として利用。

◇愛知県北名古屋市

コミュニティ・スクールを平成24年度より導入。学校運営協議会と地域学校協働本部が一体的に推進運営。各小学校に地域コーディネーターを1名以上任命。



◎市民福祉常任委員会（令和6年10月15日～16日）

空き家対策の先進事例を調査・研究

◇東京都調布市

ガス会社と連携し検針時に空き家を把握する仕組み、「空き家新聞」の発行、空き家を地域の居場所や子どもたちの学びの場として活用、空き家所有者が簡単に相談できるワンストップ窓口の設置。

◇栃木県栃木市

「空き家バンク」事業は毎年100件程度の空き家登録数に対し、非常に高い成約率を誇る。「農地付き空き家」が定年退職後に家庭菜園のある田舎暮らしをしたい人を中心に、非常に好評。



各委員会の行政視察報告は右記2次元コードから議会ホームページでご覧いただくことができます。



令和6年 叙勲受章者

多年にわたる地方自治関係の功績に対し、静岡県知事から勲章が授与されました。



春の叙勲
旭日双光章
鈴木 正志さん
(元市議会議員)



秋の叙勲
旭日双光章
松本 修蔵さん
(元市議会議員)

トピックス

創造しよう 夢のある焼津市

～対話から始まるこれからの10年～

まちづくり市民集会を開催！

1月18日、焼津文化会館において、「創造しよう 夢のある焼津市～対話から始まるこれからの10年～」をテーマに、焼津市自治基本条例に基づくまちづくり市民集会が開催され、議員を含む約150人の市民が参加しました。



はじめに話題提供として、講師をお招きしての基調講演、パネルディスカッションがありました。その後、参加者全員がグループに分かれ、下記のテーマについて意見交換を行いました。

《話し合いのテーマ》

- ①パネルディスカッションを聴いて思ったこと、感じたことは何ですか？
- ②あなたが想像する「夢のある焼津市」はどんなまちですか？
- ③その夢、どうやって叶えますか？

様々な世代が支え合い、参加していくためにどのようにしたら良いのか、たくさんアイデアを出し合いました。最後に各グループで出たまちづくりアイデアを発表し、共有しました。